



新川の桜

市川市立第四中学校
発行者：生活指導部
令和7年12月22日
第8号 文責 泉 貴利

「終業式を前にして…！」

さあ、長かった2学期も、いよいよ明日、終業式を迎えます。行事を乗り越える力が、クラスを一つにまとめる力になり、個々の役割や仕事を果たしていく力が、充実感や達成感を味わえた成果へと結びついたと思います。

12月（師走）の声を聞いてからは、あっ、という間に時間が過ぎていった気がします。

今回の冬休みは、13日間あります。年末・年始の恒例行事も例年通りに行われます。さらに、初詣では、『合格必勝祈願』のだるまやお守りを手にする受験生を毎年多く見かけます。『3年生達が挑む高校受験』、『君達のお兄さん、お姉さんが挑む大学受験』、『就職しながら、様々な資格認定試験』に挑む人達まで、最後は神頼み…、という縁起担ぎですね。ただ、受験生の最大の武器は、これだけ勉強したんだ！という実績だと思います。心の支えができるよう頑張ってください。



《2学期の振り返りをしましょう》

- ①毎日の生活リズムを大切にすることができましたか？（早寝・早起き・朝ごはん）
- ②合唱コンクールでの取り組みには満足できましたか？
- ③校外学習で得た経験が、毎日の学校生活に活かされていますか？
- ④定期試験や実力テストでの出来栄には満足していますか？
- ⑤夏休みから一所懸命に取り組んできた部活動の大会における成果には、満足いくものがありましたか？（市内大会、招待試合など…。）数え上げたら、反省する事ばかりで、何ら良い事は一つもなかった！という人も少なくないと思います。しかし、きちんと反省できるという人、上手いかなかった理由がわかっていて、毎日の努力を惜しまず、こつこつと頑張っている人、そんな人達にこそ『未来』はやってきます。この時期うまくいかなくても、きっと、来年は力を発揮することが出来ると信じて下さい。

うまく行かなかった結果に対して、自分の努力不足は認めず、他人が悪い！自分のせいじゃない！と言い張る自己中心的な考えの人はいませんか？ 失敗したことには、必ず原因があるものです。

その原因を客観的に分析して、自己責任の％をどの程度認めることができるか、又は、自分の努力が足りてなかったからこそ、他人にも迷惑をかけてしまった…。というような分析結果が出せる人は数か月後、あるいは1年後には、圧倒的に良い結果が出てきます。（『失敗は成功のもと』の精神です！）

※ 勉強であれ、部活動であれ、失敗したことから得るものの方が多いのですから…。

《冬季休業中、特に気を配ってほしい項目》

- ① 学業・進路に関すること。（弱点教科の克服。進路先の資料収集など）
- ② 自律的な生活・マナーに関すること。（言葉遣い、礼儀・挨拶など）
- ③ 生命尊重に関すること。（いじめや暴力は絶対に許さない。自殺予防など）
- ④ 交通安全に関すること。（交通ルールの厳守。自転車の乗り方マナーなど）
- ⑤ 健康増進・体力向上に関すること。（規則正しい生活。インフルエンザ対策）
- ⑥ 部活動、対外試合、行事に関すること。（練習計画の日程を確認する）

「冬季休業中の諸注意」

夏休みの1/3程度の期間ですが、学校を離れ、家族で過ごす時間が増えること、年末・年始というイベント性が高い場所への行き来が増えること、さらに、お年玉やクリスマスプレゼントなど、金品が多く手に入り、気が大きくなってしまうのもこの時期にみられる特有な現象です。

学校から離れることにより、毎日顔を合わせなくなったことで、気軽に情報や様子を知るツールとして、よく使われるのが『スマートフォン（携帯電話）』です。その使い方による弊害についても、何度となく触れてきました。お互いが嫌な気持ちにならないようにしましょう。

【親子で家庭のルールをつくる】

保護者と子どもと話し合い、インターネット利用について家庭内のルールをつくりましょう。例えば、インターネット上でゲームを利用したり、動画を見たりする場合、名前や住所、学校名などの個人情報を探られる場合があります。また、通信料以外の料金の支払いのために、保護者のクレジットカード番号の入力が求められることがあります。こうしたケースでは、個人情報のもとより、保護者のクレジットカード番号が悪用されれば大きな被害をこうむります。こうしたインターネットの危険な面についても、子どもに丁寧に説明し、ルールを一方的に押しつけるのではなく、なぜ、そのルールが必要なのかを子どもに理解させることが大切です。また、子どもがルールを破ったときの対応も、事前に子どもと決めておきましょう。

【子どものスマートフォン利用に関するトラブルの例】

- ・書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ
- ・SNSなどで人の悪口を書き込むなど、インターネット上での人権侵害やいじめが発生し、被害に遭った子どもが不登校となるなどの事例も発生しています。
- ・SNSなどに載せた個人情報の流出
SNSなどに安易に個人情報を記載したために、写真や名前、メールアドレスが知らないところで勝手に使われ、嫌がらせを受ける被害が発生しています。

※画像がいったんインターネット上（インスタやYouTubeなど）やLINE・メールなどに流出すれば、画像・動画のコピーが転々と流通して回収することが極めて困難となり、被害を受けた子どもは、将来にわたって永く苦しむことになるなど、重大な人権侵害となりますので、十分気を付けましょう。

～かけがえのない命を大切に～（この世に生を受けた命は、生きるためのものです）

命はかけがえのないもの、たったひとつしかないものです。そして、その命は、君一人だけのものではなく、君を大切に守っていきたいという家族・周りの人たちのものでもあります。

一人一人が、大切な命、尊い命を守っていきましょう。（自殺予防強化月間⇒休み明けの体調管理を）

～いじめや嫌がらせをされて、悩んでいる君へ～（辛い、悲しい、を乗り越える力を持とう）

『誰にも言えない』『心配をかけたくない』などと、たった一人で、苦しみを心の中に閉じ込めていませんか。どうか、君自身の苦しみを軽くするためにも、誰かに相談して下さい。一緒に真剣に考えてくれる人が、必ずそばにいます。家族・先生・友達…、勇気をもって打ち明けて下さい。

いじめは絶対に許されない行為です。一人で解決することはなかなか難しいことなのです。

そのままの状態にしてはいけません。（テレフォン相談の有効的な活用も考えよう）

～いじめたことのある君・今いじめている君へ～（人を傷つけて得るものはなにもない）

自分では、ちょっとからかったつもり、軽い気持ちであったとしても、相手をとて辛い気持ちにさせたり、悲しませたりすることがあります。自分が同じことを言われたり、されたりしたら嫌だな、と思うことは、相手にもしてはいけないんだよ。一度、心につけてしまった傷は、簡単には消えません。今までいじめたことのある人は、自分を責めるよりも、これからは、いじめを絶対にやらないと決心しよう。今、いじめている人は、すぐにやめて下さい。

～家庭・地域・学校の連携～（だれの責任でもない、大人の役割を果たしましょう）

我が子や近所の子のちょっとした変化も心にとめながら、見守ってください。表情がくもっていたり、元気がなかったり、体調に変化が見られた時は努めて話しかけてみて下さい。

子ども達の、大切な命をしっかりと守っていきましょう。（顔見知りの子達を気にかけてよう！）